

2023年度 第3四半期決算

説明資料

2024年2月5日（月）

2023年度 第3四半期決算概要

連結対象会社

項目	2022年度末 (A)	2023年度 第3四半期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	36社	36社	0社	
持分法 適用会社数	15社	15社	0社	
計	51社	51社	0社	

環境要因

項目			2022年度 第3四半期 (A)	2023年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	136.5	143.3	6.8	
資材 価格	ナ フ サ	CIF	\$/ t	831	667	△ 164
		国産	円/KL	80,000	68,100	△ 11,900
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	1,073	920	△ 153
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	407.5	201.5	△ 206.0
			円/t	55,628	28,873	△ 26,755

主要項目

(単位：億円)

項目	2022年度 第3四半期 (A)	2023年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	3,684	3,329	△ 354	△ 9.6%
営業利益	130	123	△ 7	△ 5.2%
経常利益	△ 45	232	277	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 24	199	223	—

(注) 2022年度第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

セグメント別 売上高/営業利益

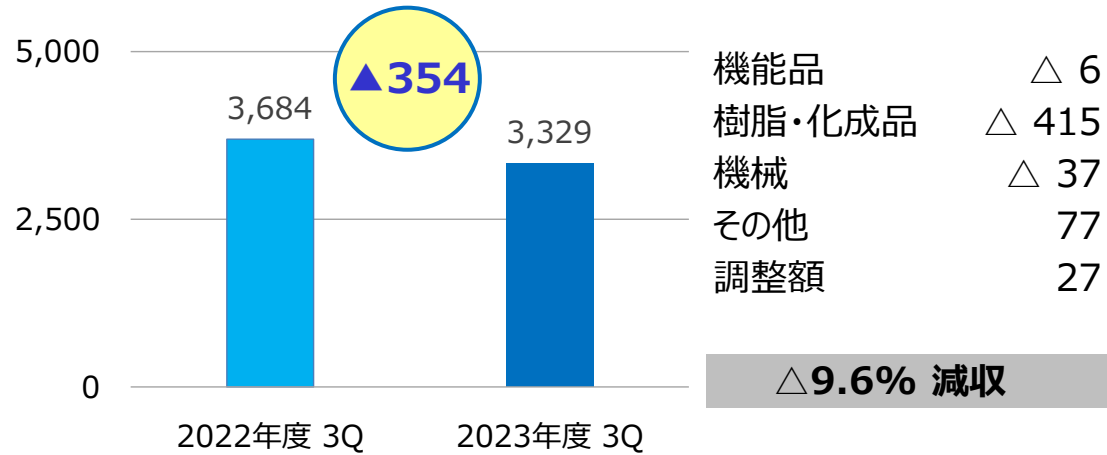
(単位：億円)

	セグメント	2022年度	2023年度	差異	増減率
		第3四半期 (A)	第3四半期 (B)		
売上高	機能品	474	468	△ 6	△ 1.3%
	樹脂・化成品	2,252	1,837	△ 415	△ 18.4%
	機械	693	656	△ 37	△ 5.3%
	その他	506	583	77	15.2%
	調整額	△ 241	△ 215	27	-
	計	3,684	3,329	△ 354	△ 9.6%
営業利益	機能品	85	83	△ 2	△ 2.2%
	樹脂・化成品	33	△ 6	△ 38	-
	機械	26	44	17	66.9%
	その他	17	26	8	49.5%
	調整額	△ 31	△ 24	8	-
	計	130	123	△ 7	△ 5.2%

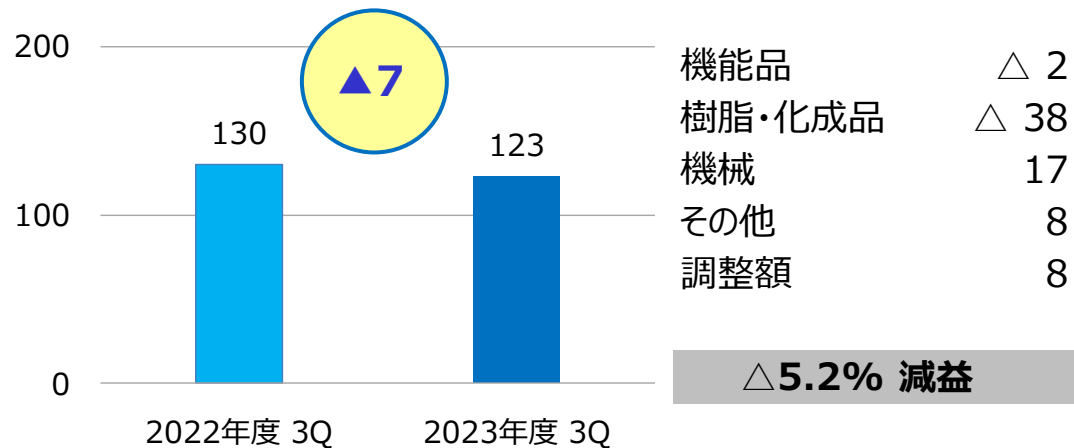
差異分析 全社

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 樹脂・化成品：ナイロンポリマー、カプロラクタム等の販売が低調
- その他：イーピーアイコーポレーション社を連結子会社化

営業利益：減益

- 樹脂・化成品：需要減退によりナイロンポリマー、ファインケミカルの販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1 △ 0

数量差 △ 37

固定費ほか ※2 31

計 △ 7

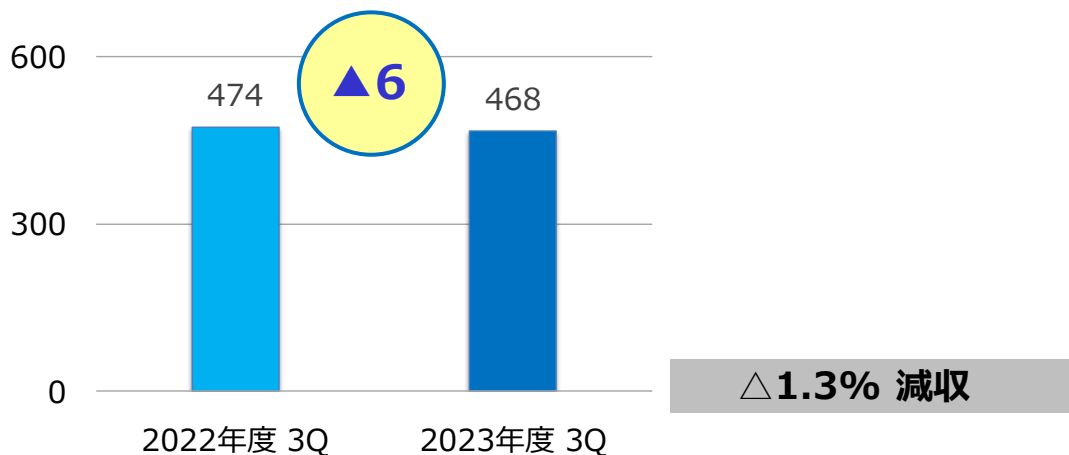
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

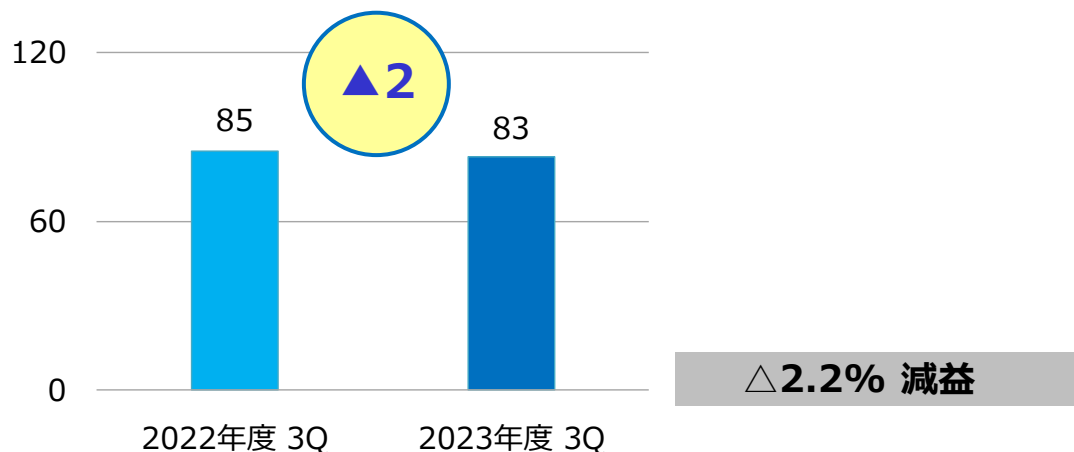
差異分析 機能品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- ポリイミド : ディスプレイ、スマートフォンの需要が減退
- 分離膜 : バイオガス関連用途を中心に需要が好調
- セラミックス : 軸受や基板用途の需要が好調

営業利益：減益

- 分離膜やセラミックスが好調なものの、ポリイミド等が低調に推移

営業利益差異

価格差 ※1	25
数量差	△ 19
固定費ほか ※2	△ 8
計	△ 2

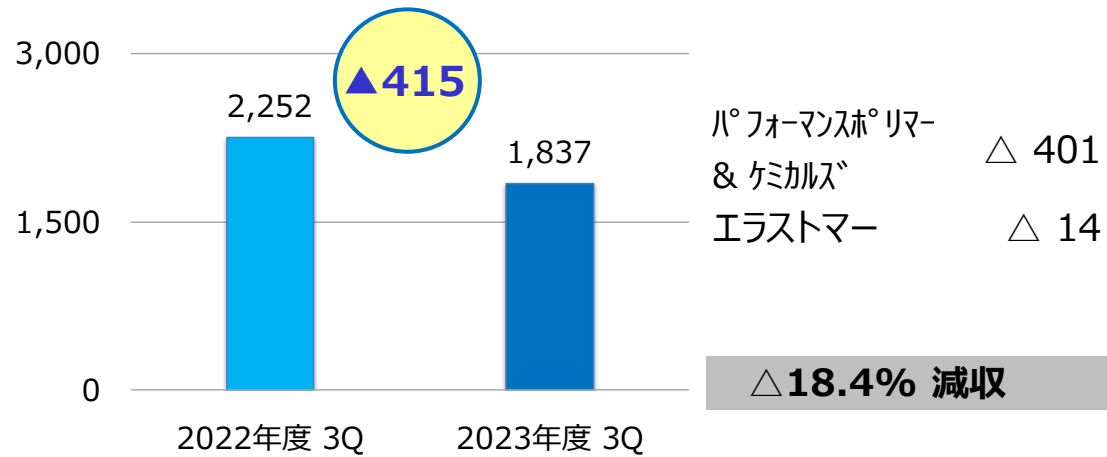
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

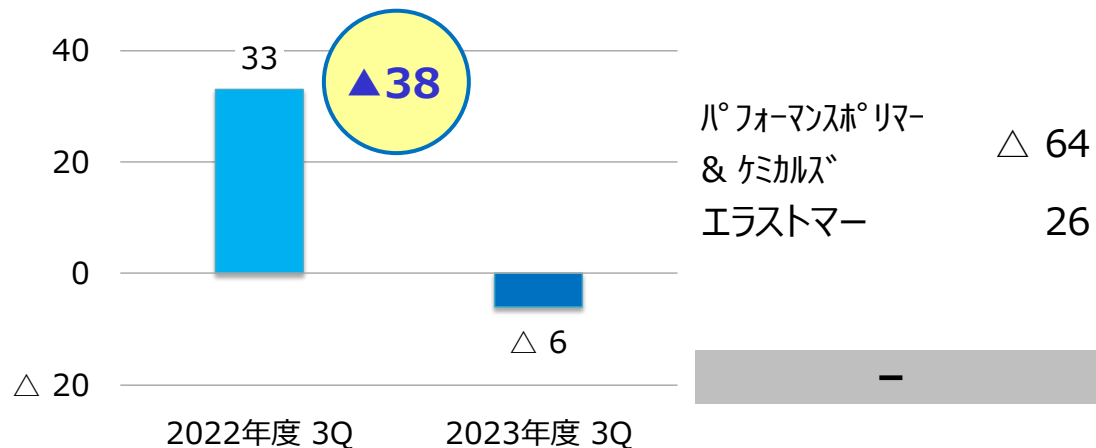
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- ・ ナイロンポリマー : 食品包装フィルム用途等の海外需要は回復傾向にあるが、上期において販売数量が減少
- ・ ラクタム・硫安 : 需要減退により販売数量が減少、原料市況の下落等により販売価格も下落
- ・ ファインケミカル : 製品市況下落に伴い販売価格が低下、需要減退により販売数量も減少

営業利益：減益

- ・ 需要減退によりナイロンポリマー、ファインケミカルの販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1 △ 31

数量差 △ 15

固定費ほか ※2 8

計 △ 38

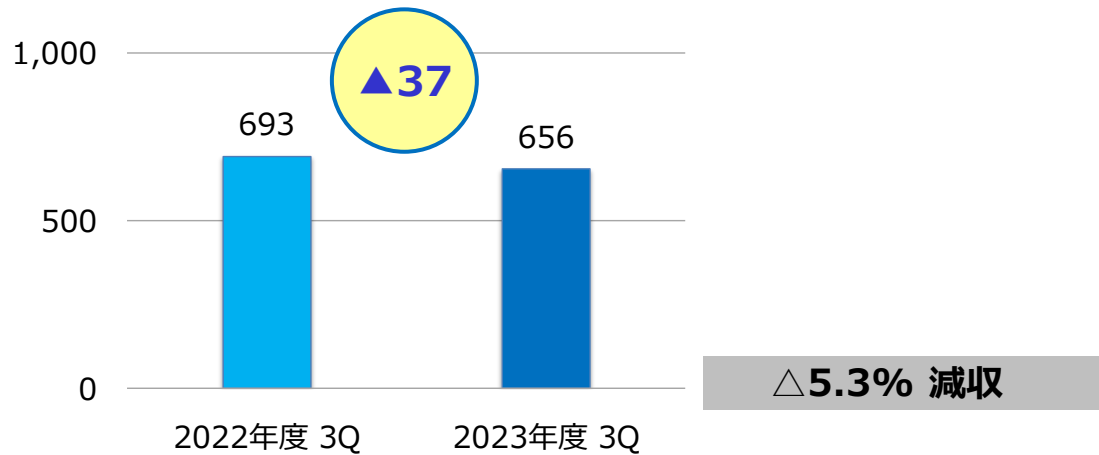
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

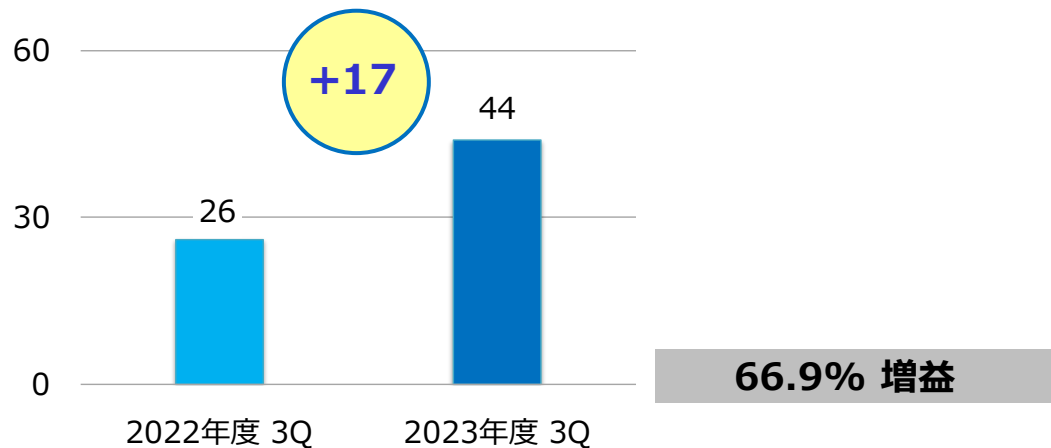
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 成形機 : 自動車産業の設備投資が減速
- 産機 : 機械製品に対するメンテナンスなどサービスが堅調に推移
- 製鋼 : 需要減退により販売数量が減少

営業利益：増益

- 成形機、産機のサービスが堅調に推移
- 製鋼における原材料価格の下落

営業利益差異

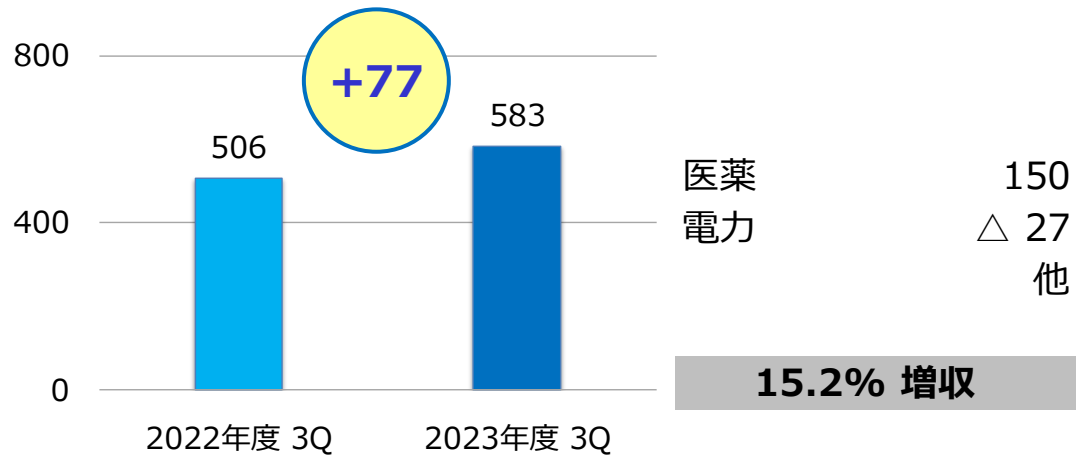
機械部門限界利益 17

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

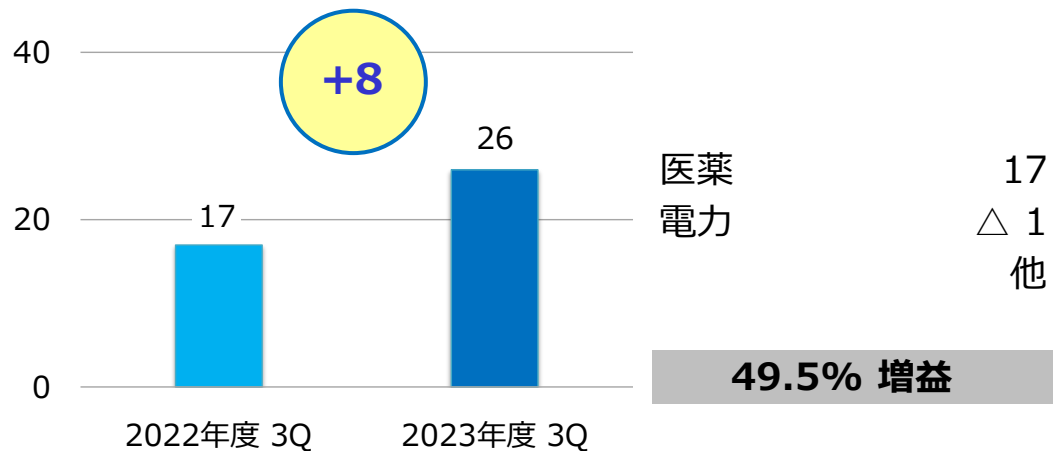
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ・ 医薬 : エーピーアイコーポレーション社を連結子会社化
- ・ 電力 : 石炭価格下落に伴い売電価格が下落

営業利益：増益

- ・ エーピーアイコーポレーション社を連結子会社化

営業利益差異

価格差 ※1	0
数量差	△ 5
固定費ほか ※2	13
計	8

※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

営業利益～四半期純利益

(単位：億円)

項目	2022年度 第3四半期 (A)	2023年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	130	123	△ 7
営業外損益	△ 175	109	284
金融収支	8	31	23
持分法投資損益	△ 163	90	253
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益	△ 170	102	272
為替差損益	6	5	△ 0
その他	△ 25	△ 17	8
経常利益	△ 45	232	277
特別損益	75	1	△ 74
税金等調整前四半期純利益	30	233	203
法人税等・非支配株主利益	△ 54	△ 33	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 24	199	223
1株当たり四半期純利益	△ 24.60円	205.51円	230.11円

(注) 2022年度第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

貸借対照表

(単位：億円)

項目		2022年度末 (A)	2023年度 第3四半期末 (B)	差異 (B) - (A)
資産	流動資産	2,831	2,870	39
	固定資産	4,494	4,688	194
	合計	7,327	7,560	233
負債	有利子負債	2,181	2,182	1
	その他負債	1,329	1,325	△ 4
		3,511	3,507	△ 3
純資産	自己資本*	3,616	3,849	233
	非支配株主持分他	200	203	3
	計	3,816	4,052	236
負債・純資産合計		7,327	7,560	233

* 「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

(注) 2023年度第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度末に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

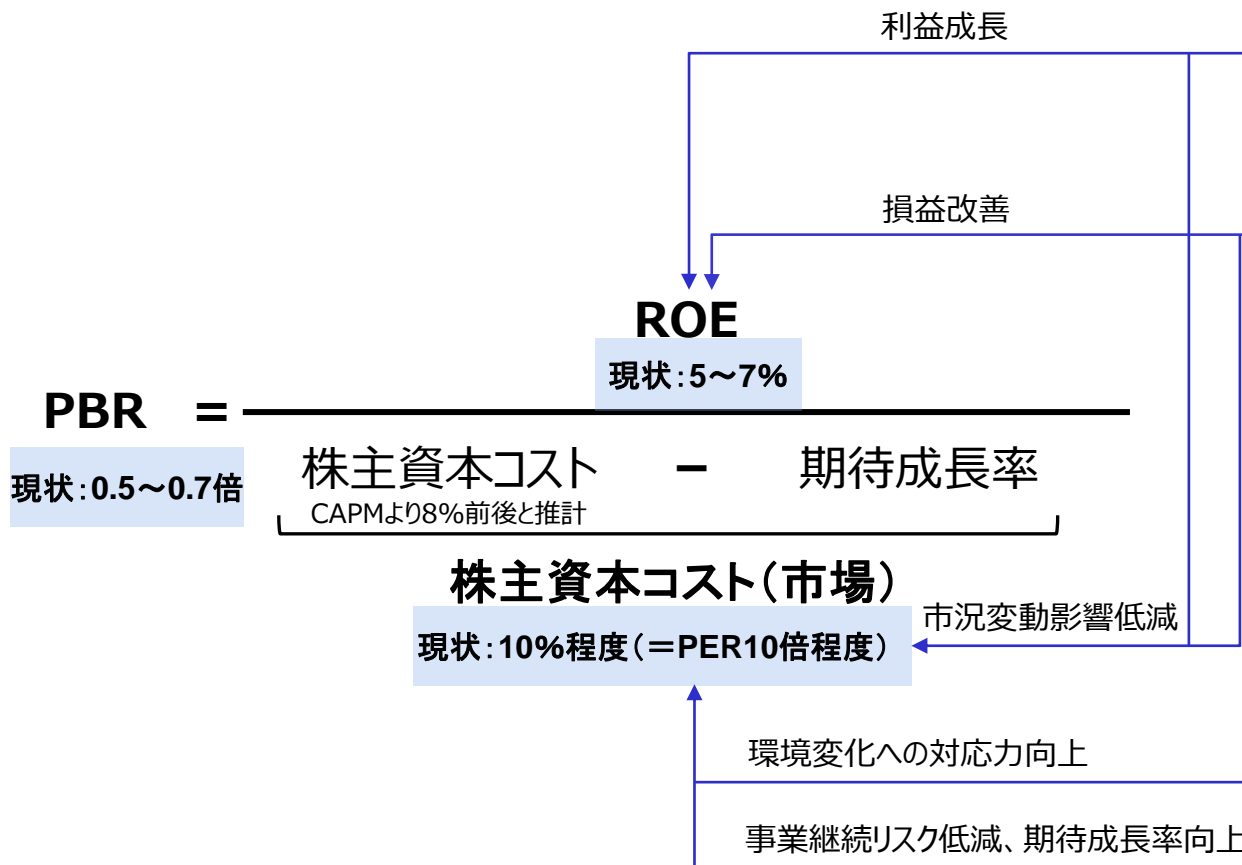
キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

項目	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	
A.営業活動によるCF	51	348	税金等調整前四半期純利益 233 減価償却費 197 持分法による投資損益 △90 他
B.投資活動によるCF	△ 176	△ 247	有形・無形固定資産の取得 △218 短期貸付金の増減 △27 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 125	101	
C.財務活動によるCF	87	△ 106	有利子負債の増減 △9 配当金の支払 △97 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 464	4	
E.現金及び現金同等物の四半期末残高	324	311	

(注) 2022年度第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

現状分析・評価、改善に向けた取組み



- **スペシャリティ事業(*)の拡大**
 - 市場成長に合わせた能力拡大とともに、周辺領域におけるM&Aなども活用し、着実な利益成長を推進。
 - *ポリイミド、分離膜、セラミックス、コンポジット、ファインケミカル（C1ケミカル）、高機能コーティング、医薬、等
 - 注カドメインにおける新規事業創出に向けた活動を強化。
 - **ベーシック事業の再構築**
 - アンモニア・ラクタムチェーンの再構築を推進。
- ➔ スペシャリティ事業の拡大とベーシック事業の再構築推進により、収益性の改善を図り、ROEを向上させるとともに、市況変動に左右され難く、GHG排出量の少ない事業ポートフォリオに転換することによって、株主資本コストの低減を図る。

施策の着実な遂行とスピードアップ

- **サステナビリティ経営の推進(人的資本、地球環境、DX)**
 - 成長を牽引する人財を計画的に育成し、スペシャリティ事業の拡大を加速。
 - 女性の活躍推進及び専門性の高いキャリア採用の拡大等により、諸施策の遂行に必要な人財を確保するとともに、認知的多様性を高め「イノベティブな風土」を醸成。
 - DXを活用した業務の効率化、高度化の推進。
 - 2030年のGHG排出量削減目標50%(対13年度)。
 - 環境貢献型製品・技術の拡大。
- ➔ 経営基盤の質を高め、中長期にわたる持続的な成長を実現。

參考資料

主要項目 進捗率

(単位：億円)

項目	2022年度 (A)		2023年度 (B)		差異 (B) - (A)	
		第3四半期実績 (進捗率)		第3四半期実績 (進捗率)		第3四半期実績
売上高	4,947	3,684 (74.5%)	4,840	3,329 (68.8%)	△ 107	△ 354
営業利益	162	130 (80.1%)	170	123 (72.4%)	8	△ 7
経常利益	△ 87	△ 45 (-%)	265	232 (87.5%)	352	277
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△ 70	△ 24 (-%)	215	199 (92.8%)	285	223

(注) 2022年度第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2022年度第3四半期実績に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2023年度第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2022年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

売上高 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2023年度					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	158	155	155	—	468	675	69.3%
樹脂・化成品	603	598	636	—	1,837	2,575	71.4%
機械	206	221	230	—	656	1,065	61.6%
その他	189	190	203	—	583	810	72.0%
調整額	△ 64	△ 76	△ 75	—	△ 215	△ 285	—%
計	1,092	1,089	1,149	—	3,329	4,840	68.8%

営業利益 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2023年度					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	30	26	27	—	83	130	64.1%
樹脂・化成品	△ 16	△ 8	18	—	△ 6	△ 20	—%
機械	9	13	22	—	44	65	67.0%
その他	9	5	11	—	26	40	64.1%
調整額	△ 6	△ 10	△ 8	—	△ 24	△ 45	—%
計	26	26	71	—	123	170	72.4%

売上高 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2023年度 第2四半期 (A)	2023年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	155	155	0	
樹脂・化成品	598	636	37	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 46 エラストマー △ 9
機械	221	230	9	
その他	190	203	13	医薬 13 電力 △ 3 他
調整額	△ 76	△ 75	0	
計	1,089	1,149	60	

営業利益 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2023年度 第2四半期 (A)	2023年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	26	27	1	
樹脂・化成品	△ 8	18	26	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 32 エラストマー △ 6
機械	13	22	9	
その他	5	11	6	医薬 4 電力 △ 0 他
調整額	△ 10	△ 8	2	
計	26	71	45	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位：億円)

	ポートフォリオ	2022年度	2023年度	差異	2023年度	進捗率
		第3四半期	第3四半期			
		(A)	(B)	(B) - (A)		
売上高	スペシャリティ事業	1,006	1,113	106	1,575	70.7%
	ベーシック事業	1,825	1,433	△ 392	1,990	72.0%
	機械事業	693	656	△ 37	1,065	61.6%
	その他（調整額を含む）	160	127	△ 32	210	60.5%
	計	3,684	3,329	△ 354	4,840	68.8%
営業利益	スペシャリティ事業	149	126	△ 23	205	61.4%
	ベーシック事業	△ 19	△ 20	△ 2	△ 50	—
	機械事業	26	44	17	65	67.0%
	その他（調整額を含む）	△ 27	△ 26	1	△ 50	—
	計	130	123	△ 7	170	72.4%

UBE三菱セメント

■ UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

(単位：億円)

項目	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	2023年度 通期予想
売上高	4,496	4,479	5,900 (6,000)
うち海外事業	1,080	1,386	1,800 (1,850)
営業利益	△242	365	395 (330)
うち海外事業	68	249	265 (240)
経常利益	△224	385	405 (335)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△333	194	195 (190)

■ UBE(株) 持分法投資損益

()は2023年11月公表値

持分法による投資利益 (損失)	△170	102	105 (105)
-----------------	------	-----	-----------

- 国内セメント事業は、5,000円値上げの完遂や安価熱エネルギーの使用拡大等の改善効果により、3Q累計にて黒字を達成した。内需減少や物流コスト増など事業環境は厳しい状況が続いているが、通期においても黒字化達成を目指す。
- 環境エネルギー事業および国内グループ会社は、上期に続き3Q累計では増益となった。
- 米国生コン事業は、3Q(10-12月)は商業施設向け需要の減少と悪天候影響により販売が伸び悩んだものの、3Q累計では値上げ効果により大幅な増益となった。4Q(1-3月)においては販売数量の低迷およびコストUPなどにより黒字幅は縮小する。
- なお、3Qにおいて前年度末に停止した青森工場解体費の増加見込額を特別損失に計上した。

■ UBE三菱セメント(株) 定量情報

項目	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	2023年度 通期予想
セメント (国内総需要) (万t)	2,859	2,671	3,500 (3,600)
セメント (国内) 販売数量 (万t)	701	635	840 (865)
セメント (米国) 販売数量 (万st)	131	135	175 (180)
生コン (米国) 販売数量 (万cy)	548	539	675 (700)
一般炭価格 (参考指標) (\$/t)	392	148	151 (177)
ドル為替レート (円/ドル)	137	143	144 (145)

※ 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考) 2023年12月末 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	7,957	有利子負債	1,784	自己資本	3,484
自己資本比率	43.8%	D/Eレシオ	0.51倍		

連結主要指標

(単位：億円)

項目	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	2023年度通期 <予想>	2022年度通期
設備投資	193	195	410	293
減価償却費	189	197	245	255
研究開発費	76	76	110	104
事業利益	△ 20	251	280	△ 55
有利子負債残高	2,227	2,182	2,180	2,181
自己資本	3,658	3,849	3,850	3,616
総資産	7,499	7,560	7,600	7,327
D/Eレシオ (倍)	0.61	0.57	0.57	0.60
自己資本比率(%)	48.8	50.9	50.7	49.4
売上高営業利益率(%)	3.5	3.7	3.5	3.3
総資産事業利益率(%)	—	—	3.7	△ 0.7
自己資本当期純利益率(%)	—	—	5.8	△ 1.9
従業員数 (人)	8,109	8,019	8,120	8,028

(注) 2022年度第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2022年度第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2023年度第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2022年度第3四半期および2022年度通期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

主要連結子会社

(単位：億円)

会社名	事業内容	売上高 2023年度 第3四半期	営業利益 対2022年度 第3四半期
UBE Corporation Europe, S.A. Unipersonal	ナイロン、カプロラクタム、硫安、ファイン製品の製造・販売	393	↓
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	ナイロン、カプロラクタム、硫安の製造・販売	300	↑
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエンゴムの製造・販売	152	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	85	↑
宇部エクシモ株式会社	ポリプロピレンの成形品、繊維、FRP製品、電子・情報材料の製造・販売	90	↓
UBEマシナリー株式会社	成形機・産業機械・橋梁などの製造・販売・サービス	349	↑
株式会社宇部スチール	圧延用鋼塊ビレット、鋳鋼品・鋳鉄品の製造・販売	209	↑

(注) ↑ ↓ は 1 億円以上の増減を示す

2023年度 通期決算発表 および 2024年度 経営概況説明会

- **2023年度 通期 決算発表**
 - **5月13日 15:00**

- **2023年度 通期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会**
 - **5月13日 18:00 ~ 19:00**

- **2024年度 経営概況説明会**
 - **5月21日 10:00 ~ 11:30**

尚、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。

UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。